



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 ニチハ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 7943 URL <http://www.nichiha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 龍夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 殿井 一史

TEL 052-220-5116

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	56,854	0.3	6,681	7.9	6,841	16.5	5,006	22.1
29年3月期第2四半期	57,008	6.5	6,191	83.9	5,874	72.4	4,100	59.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 5,201百万円 (104.5%) 29年3月期第2四半期 2,543百万円 (7.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	135.42	135.17
29年3月期第2四半期	110.93	110.75

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	126,889	74,847	59.4	2,038.49
29年3月期	126,470	70,777	56.4	1,929.85

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 75,373百万円 29年3月期 71,350百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		21.00		31.00	52.00
30年3月期		27.50			
30年3月期(予想)				27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,000	0.7	13,800	7.5	14,000	6.7	10,000	4.2	270.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	37,324,264 株	29年3月期	37,324,264 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	349,397 株	29年3月期	352,142 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	36,974,197 株	29年3月期2Q	36,966,685 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや鉱工業生産の増加などにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

住宅産業におきましては、新設住宅着工戸数は貸家を中心に第2四半期から減少傾向が見られ、当第2四半期累計期間においては497千戸と前年同期比0.7%の減少、当社グループ事業との関係が特に強い戸建て住宅に限っては同1.6%の減少となり、市場はやや弱含みに推移しました。

一方で、当社グループの主力製品である窯業系外装材の当第2四半期累計期間における業界全体の国内販売数量は、戸建て着工と数カ月のタイムラグがあるため、前年同期に比し2.3%（JIS規格の改正に伴い平成21年度よりJIS規格対象外となった12mm厚製品を含む従来基準）の増加となりました。

このような市場環境の下、当社グループは、引き続き耐候性・メンテナンスコストなどの面で優れた新世代外装材「Fu-ge（フュージェ）」などの顧客ニーズに沿った高付加価値商品のアピールに努めるとともに、各種販売施策を講じて積極的な拡販を図りました。また、公共施設・商業施設などの非住宅市場向けの新商品「COOL（クール）」の投入を始めとした販売戦略の強化や成長を続けている米国を始めとする海外マーケットの開拓を図るとともに、各種合理化や生産性向上によるコスト削減にも注力いたしました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

(金額単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	
			金額	率 (%)
売上高	57,008	56,854	△153	△0.3
営業利益	6,191	6,681	489	7.9
経常利益	5,874	6,841	966	16.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,100	5,006	906	22.1

売上高につきましては、国内事業が販売数量の減少により微減収となったほか、米国窯業系外装材事業も商流再編の過渡期にあたり一時的に減収となったことから、全体の売上高は568億54百万円と前年同期比1億53百万円（0.3%）の微減収となりました。

一方で損益につきましては、国内外装材事業は減収となったものの、前期に大きく減少していた在庫水準を増産により回復させた効果や合理化などにより増益となったうえ、海外窯業系外装材事業は減収分を生産性向上を主因とした利益率改善で吸収し増益となったことから、営業利益は66億81百万円と前年同期比4億89百万円（7.9%）の増益、経常利益は前年同期に計上した為替差損が大幅に減少したことも加わり68億41百万円と同9億66百万円（16.5%）の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期に計上した減損損失がなくなったこともあり、50億6百万円と同9億6百万円（22.1%）の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## 外装材事業

売上面では、前記のとおり、国内外装材事業、米国窯業系外装材事業ともに減収となったことから、売上高は522億73百万円と前年同期比2億52百万円（0.5%）の微減収となりました。

また、損益面では、前記のとおり、国内外装材事業の在庫増加効果や米国窯業系外装材事業の増益などにより、セグメント利益（営業利益）は80億65百万円と前年同期比8億30百万円（11.5%）の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比し純資産が40億70百万円、総資産が4億18百万円それぞれ増加した結果、自己資本比率は59.4%と3.0ポイントの増加となりました。

増減の主なもの、流動資産では現金及び預金が22億51百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が12億75百万円、商品及び製品が15億円、仕掛品が8億44百万円それぞれ増加したことなどにより、流動資産全体で12億55百万円増加しております。また、固定資産では有形固定資産が13億49百万円減少した一方で、投資その他の資産が5億28百万円増加するなど、固定資産全体で8億36百万円減少しております。

負債では、流動負債が35億94百万円、固定負債が57百万円それぞれ減少したことにより、負債合計は36億51百万円減少しております。

[キャッシュ・フロー計算書]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比し22億51百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には246億2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は31億44百万円と前年同期比34億79百万円の減少となりました。これは、主に、償却前利益（税金等調整前四半期純利益＋減価償却費）で94億68百万円を計上した一方で、売上債権が13億29百万円、たな卸資産が25億48百万円それぞれ増加し、法人税等の支払額が21億90百万円となるなど資金の減少要因もあったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は40億33百万円と前年同期比18億13百万円の増加となりました。これは、主に、有形固定資産の取得による支出が38億40百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は11億39百万円と前年同期比2億26百万円の増加となりました。これは、主に、配当金の支払額が11億46百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）の通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

なお、今後の動向等により業績予想の修正が必要となった場合には、適時に開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,854	24,602
受取手形及び売掛金	27,440	28,716
商品及び製品	9,250	10,751
仕掛品	1,722	2,567
原材料及び貯蔵品	2,735	2,792
繰延税金資産	1,292	1,200
その他	914	840
貸倒引当金	△40	△46
流動資産合計	70,170	71,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,648	13,262
機械装置及び運搬具(純額)	11,723	10,768
工具、器具及び備品(純額)	479	468
土地	20,380	20,377
リース資産(純額)	314	254
建設仮勘定	141	205
有形固定資産合計	46,687	45,337
無形固定資産		
リース資産	10	19
ソフトウェア	1,032	1,872
その他	1,135	270
無形固定資産合計	2,178	2,162
投資その他の資産		
投資有価証券	5,275	6,061
退職給付に係る資産	230	223
繰延税金資産	459	231
その他	1,495	1,471
貸倒引当金	△25	△23
投資その他の資産合計	7,434	7,963
固定資産合計	56,300	55,463
資産合計	126,470	126,889

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,068	14,880
短期借入金	5,318	5,457
リース債務	140	138
未払法人税等	2,308	1,722
賞与引当金	1,330	1,420
役員賞与引当金	108	50
製品保証引当金	845	596
その他	11,618	8,877
流動負債合計	36,739	33,144
固定負債		
長期借入金	15,033	14,975
リース債務	211	158
繰延税金負債	590	582
退職給付に係る負債	1,509	1,567
役員退職慰労引当金	145	148
製品保証引当金	1,279	1,279
その他	185	185
固定負債合計	18,954	18,896
負債合計	55,693	52,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,136	8,136
資本剰余金	10,925	10,925
利益剰余金	50,787	54,650
自己株式	△325	△324
株主資本合計	69,523	73,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,006	2,557
為替換算調整勘定	395	△37
退職給付に係る調整累計額	△575	△534
その他の包括利益累計額合計	1,826	1,985
新株予約権	75	87
非支配株主持分	△648	△612
純資産合計	70,777	74,847
負債純資産合計	126,470	126,889

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	57,008	56,854
売上原価	34,398	33,727
売上総利益	22,610	23,126
販売費及び一般管理費	16,418	16,445
営業利益	6,191	6,681
営業外収益		
受取利息	12	20
受取配当金	59	74
不動産賃貸料	44	44
受取保険金	1	75
その他	55	55
営業外収益合計	173	269
営業外費用		
支払利息	102	82
為替差損	370	9
その他	17	18
営業外費用合計	490	109
経常利益	5,874	6,841
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	0	1
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	20	45
減損損失	158	—
その他	—	1
特別損失合計	178	47
税金等調整前四半期純利益	5,697	6,797
法人税、住民税及び事業税	1,522	1,694
法人税等調整額	60	57
法人税等合計	1,582	1,752
四半期純利益	4,115	5,044
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,100	5,006
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	37
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166	551
為替換算調整勘定	△1,466	△436
退職給付に係る調整額	60	40
その他の包括利益合計	△1,571	156
四半期包括利益	2,543	5,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,534	5,165
非支配株主に係る四半期包括利益	8	35



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,697	6,797
減価償却費	2,074	2,671
減損損失	158	—
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△2	△249
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	34	32
受取利息及び受取配当金	△71	△94
支払利息	102	82
為替差損益 (△は益)	438	4
固定資産除却損	20	45
売上債権の増減額 (△は増加)	△925	△1,329
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,341	△2,548
仕入債務の増減額 (△は減少)	△788	△58
その他	46	△28
小計	8,124	5,323
利息及び配当金の受取額	74	95
利息の支払額	△105	△84
法人税等の支払額	△1,471	△2,190
法人税等の還付額	1	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,623	3,144
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,438	△3,840
有形固定資産の売却による収入	35	3
無形固定資産の取得による支出	△922	△217
投資有価証券の売却による収入	—	1
その他	106	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,219	△4,033
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	60	120
長期借入れによる収入	2,900	3,000
長期借入金の返済による支出	△3,241	△3,038
リース債務の返済による支出	△77	△73
配当金の支払額	△554	△1,146
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△913	△1,139
現金及び現金同等物に係る換算差額	△318	△223
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,172	△2,251
現金及び現金同等物の期首残高	17,218	26,854
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,390	24,602

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	52,112	4,895	57,008	—	57,008
セグメント間の内部売上高 又は振替高	413	1,050	1,464	△1,464	—
計	52,525	5,946	58,472	△1,464	57,008
セグメント利益	7,235	148	7,384	△1,193	6,191

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△12億23百万円及びその他の調整額30百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	51,842	5,012	56,854	—	56,854
セグメント間の内部売上高 又は振替高	431	1,080	1,511	△1,511	—
計	52,273	6,092	58,366	△1,511	56,854
セグメント利益	8,065	133	8,199	△1,517	6,681

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△15億43百万円及びその他の調整額25百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。